

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
フクケン・サカイ 福井県・坂井市	H27～H29

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
福井県農林水産部農村振興課	0776-20-0457	0776-20-0657	noson@pref.fukui.lg.jp
坂井市産業経済部農村整備課	0776-50-3154	0776-68-0440	nouson@city.fukui-sakai.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
交流人口の増加	6.80%	区域内における主要な交流施設等の入込客数の増加 平成24年実績=2,062,842人 平成25年実績=2,079,868人 平成26年実績=2,114,063人 平成27年目標=2,114,063人 平成28年目標=2,229,563人 平成29年目標=2,339,063人 $=6,682,689人(H27\sim H29合計) \div 6,256,773人(H24\sim H26合計) \times 100-100$
事業活用活性化計画目標の設定根拠 直売所および農家レストランの新設により、目標数値を算定。 平成27年度から29年度前期にかけては、事業期間として計画しているため、平成29年度後半より入込客数の増加を見込んでいる。 再整備をすることで他施設との連携などにより相乗効果が発生し、エリア外からの入客が見込まれると判断し、平成24年から平成26年までの実績と比較し6.80%の増加率を設定した。 <ul style="list-style-type: none"> ・直売所 年間開店日数300日×入込客数250人/1日=75,000人 ・農家レストラン 年間開店日数300日×入込客数100人/1日=30,000人 ・ゆりの里公園来客数 年間開園日数300日×入込客数100人/1日=30,000人 ・その他イベント開催による入込客数=年間90,000人 平成29年目標－平成26年見込=225,000人		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
受入機能強化施設	春江地区	区域内で生産された農産物を販売する施設を建設し、地域の活性化を図る	・農産物直売所 1棟(350㎡)	H27(実施設計) H27(施設整備)	坂井市	101,500	50,750	1/2	50,750	活性化計画、事業活用活性化計画のいずれも交流人口の増加を目指すものである。 農産物直売所が整備されることにより、新たな農産物の生産拡大やブランド化、地域特産品の販売が促進され、地区外からの来場者が増加し交流人口の増加につながる。
受入機能強化施設	春江地区	区域内で生産された農産物を加工・販売する施設を建設し、地域の活性化を図る	・実施設計 1式 ・農家レストラン 1棟(340㎡) ・既存施設改修含む ・施設付帯舗装 ・駐車場	H27(実施設計) H27～28(施設整備)	坂井市	190,000	95,000	1/2	95,000	活性化計画、事業活用活性化計画のいずれも交流人口の増加を目指すものである。 農家レストランが整備されることにより、新たな加工商品開発や、地域特産物、地元食材の提供を行い、地区外からの来場者が増え交流人口の増加につながる。
自然環境保全・活用施設	春江地区	園内施設の散策道や駐車場、安全施設等を整備することにより、交流人口の拡大を図る	・散策道 ・駐車場 ・案内看板 ・園内安全施設(照明) ・水路	H27(実施設計) H27～29(施設整備)	坂井市	212,500	106,250	1/2	106,250	活性化計画、事業活用活性化計画のいずれも交流人口の増加を目指すものである。 散策道や駐車場、安全施設等が整備されることにより、公園への来場者の増加し、交流人口増加につながる。
創意工夫発揮事業	春江地区	用水施設への照明設備の設置により、交流人口の拡大を図る	・調圧水槽ライトアップ	H27(実施設計) H27～28(施設整備)	坂井市	70,000	35,000	1/2	50,400	農産物直売所、農家レストラン、園内施設の整備と合わせて、園内のライトアップを行うことにより、夜間においても集客が図られ、活性化目標である交流人口増加につながる。
合 計						574,000	287,000		302,400	

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容の欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性について併せて記載すること。
- ・事業メニューには、実施要領の別表の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。

